



G第 1-200099号  
令和 4年 9月 2日

佐渡砕石協同組合

理事長 清水 正秀 様

一般財団法人 新潟県建設技術センター  
理事長 中田 一男  
〒950-1101 新潟市西区山田2-5-22番地1-8  
Tel 025-267-2191 Fax 025-267-4965



## 骨材試験結果報告書

下記試験の結果を別紙のとおり報告します。

### 記

骨材の種類等 砕石40mm

産 地 新潟県佐渡市梅津地内

試料採取場所 スtockヤード

試料採取日 令和 4年 7月25日

試料採取者 顧客

試験項目 \* 骨材のふるい分け試験  
\* ロサンゼルス試験機によるすりへり試験  
骨材の微粒分量試験  
骨材の単位容積質量及び実積率試験  
粗骨材の密度及び吸水率試験  
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験  
骨材中に含まれる粘土塊量の試験

\*印は認定を受けている試験であることを示す。( \*印以外は認定を受けていない試験である)

【注意】 当センターの書面による承認がない限り、本報告書の一部だけの複製を禁ずる。  
申込事項に関する記述は顧客の申告による。

## 骨 材 試 験 成 績 表

試 料 番 号 G第1-200099号

顧 客 の 名 称 佐渡砕石協同組合

顧 客 の 所 在 地 新潟県佐渡市両津夷269-3

報 告 書 発 行 責 任 者 試験部長 高橋 春幸



試験規格	試験項目		試験値
* JIS A 1102	骨材のふるい分け試験	ふるいの呼び寸法(mm)	通過質量分率(%)
		60	100
		50	100
		40	100
		25	46
		20	2
		15	0
		10	0
		5	0
		2.5	0
		粗粒率 =	7.98
* JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験 (%)		12.6
JIS A 1103	骨材の微粒分量試験 (%)		0.2
JIS A 1104	骨材の単位容積質量 及び 実積率試験	単位容積質量 (kg/L)	1.55
		実積率 (%)	58.9
JIS A 1110	粗骨材の密度 及び 吸水率試験	表乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.65
		絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.63
		吸水率 (%)	0.92
JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験 (%)		2.5
	ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験 (%)		—
JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験 (%)		0.07
	骨材に含まれる密度1.95 g/cm <sup>3</sup> の液体に 浮く粒子の試験 (%)		—
JIS A 5005 7.6の規定	粒形判定実積率試験 (%)		—

## 特 記 事 項

本書は、持ち込まれた試料の試験結果である。

J I S A 1 1 0 2  
: 2014

## 骨材のふるい分け試験

試料番号 G第1-200099号

試験年月日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月 3日

試験担当者 大湊 豊

ふるい分け前の試料質量 9, 046 g ふるい分け方法 手動

ふるいの呼び 寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる量		各ふるいにとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)
	質量 (g)	質量分率 (%)		
60	0	0	0	100
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
25	4,826	54	54	46
20	4,024	44	98	2
15	179	2	100	0
10	7	0	100	0
5	3	0	100	0
2.5	2	0	100	0
受皿	5	0	100	0
合計	9,046	100		

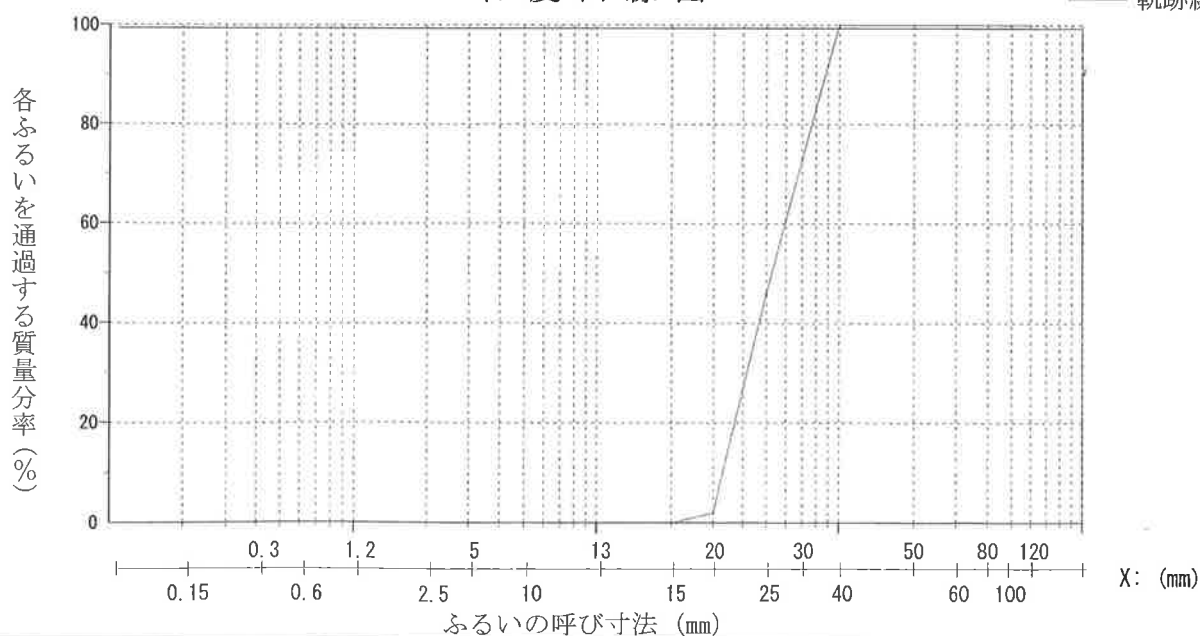
粗粒率 = 7.98

ふるい分け前後の試料質量差(%) = 0.0

Y: (%)

## 粒度曲線図

—— 軌跡線

不確かさ 相対拡張不確かさ 1.94% ( $\kappa=2$ )

特記事項

JIS A 1121 : 2007		ロサンゼルス試験機による 粗骨材のすりへり試験		
試料番号 G第1-200099号				
試験年月日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月 8日				
試験担当者 大湊 豊				
粒度区分及び回転数 G 区分・1,000回 鋼球の球数及び質量 12個・4,985g				
ふるいの 呼び寸法 (mm)		粗骨材の粒度分布		粒度区分により 調整した試料の 質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群の質量 (g)	各群の質量分率 (%)	
80	60	0	0	0
60	50	0	0	0
50	40	0	0	0
40	25	4,826	53	5,002
25	20	4,024	45	5,003
20	15	179	2	0
15	10	7	0	0
10	5	3	0	0
5	2.5	2	0	0
合計		9,041	100	10,005
すりへり試験結果				
① 試験前の試料質量 (g)				10,005
② 1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)				8,742
③ すりへり損失質量 (g)		① - ②		1,263
④ すりへり減量 (%)		$\frac{③}{①} \times 100$		12.6
不確かさ	相対拡張不確かさ 8.87% ( $\kappa=2$ )			
特記事項				

※ 本試験は認定を受けている試験である。

J I S A 1 1 0 3  
: 2 0 1 4

## 骨材の微粒分量試験

試料番号 G第1-200099号

試験年月日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月 5日

試験担当者 大湊 豊

骨材の大きさ等 40 mm

測定番号		1	2
① 洗う前の試料の乾燥質量 (g)		4,100	4,147
② 洗った後の試料の乾燥質量 (g)		4,092	4,140
③ 骨材の微粒分量 (%)	$\frac{\text{①}-\text{②}}{\text{①}} \times 100$	0.2	0.2
平均値 (%)		0.2	

特記事項

J I S A 1 1 0 4 : 2 0 1 9		骨 材 の 単 位 容 積 質 量 及 び 実 積 率 試 験			
試 料 番 号 G第1-200099号					
試 験 年 月 日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月10日					
試 験 担 当 者 大湊 豊					
骨材の大きさ等		40 mm		試料の詰め方 棒突き試験 30回 /1層	
試料の状態		絶乾状態		骨材の絶乾密度 (d <sub>D</sub> ) 2.63 (g/cm <sup>3</sup> )	
測 定 番 号			1		2
① 容 器 の 容 積 (L)		/		10.113	10.113
② (試料+容器) 質量 (kg)		/		19.804	19.855
③ 容 器 の 質 量 (kg)		/		4.155	4.155
④ 容器中の試料の質量 (kg)		② - ③		15.649	15.700
⑤ 含水率測定に用いた 試料の乾燥前の質量 (kg)		/		-	-
⑥ 含水率測定に用いた 試料の乾燥後の質量 (kg)		/		-	-
⑦ 骨材の単位容積質量 (kg/L)		絶乾状態の 場合		$\frac{④}{①}$	1.55
		含水率測定の場合		$\frac{④}{①} \times \frac{⑥}{⑤}$	-
平 均 値 (kg/L)			1.55		
⑧ 骨 材 の 実 積 率 (%)		$\frac{⑦}{d_D} \times 100$		58.9	58.9
平 均 値 (%)			58.9		
特記事項					

J I S A 1 1 1 0 : 2020		粗骨材の密度及び吸水率試験	
試 料 番 号      G第1-200099号			
試 験 年 月 日      令和 4年 8月 1日      ~      令和 4年 8月10日			
試 験 担 当 者      大湊 豊			
骨材の大きさ等              40    mm			
測 定 番 号		1	2
① 試験で用いた水の温度 (°C)		21	21
② 試験温度における水の密度 (g/cm <sup>3</sup> )		0.9980	0.9980
③ 表面乾燥飽水状態における試料の質量 (g)		4,674.9	4,494.7
④ 試料と金網かごの水中の見掛けの質量 (g)		3,336.7	3,222.8
⑤ 金網かごの水中の見掛けの質量 (g)		422.1	422.1
⑥ 表 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\frac{③ \times ②}{③ - ④ + ⑤}$	2.65	2.65
平 均 値 (g/cm <sup>3</sup> )		2.65	
⑦ 絶対乾燥状態の試料の質量 (g)		4,631.9	4,454.7
⑧ 絶 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\frac{⑦ \times ②}{③ - ④ + ⑤}$	2.63	2.62
平 均 値 (g/cm <sup>3</sup> )		2.63	
⑨ 吸 水 率 (%)	$\frac{③ - ⑦}{⑦} \times 100$	0.93	0.90
平 均 値 (%)		0.92	
特記事項			

J I S A 1 1 2 2 : 2014		硫酸ナトリウムによる 骨材の安定性試験					
試料番号 G第1-200099号							
試験年月日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月24日							
試験担当者 大湊 豊							
試験用溶液の密度 1.158 g/cm <sup>3</sup>							
ふるいで区分 した各群の 粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤	⑥
		ふるい分け試験		試験前の各 群の質量 (g)	試験後の各 群の質量 (g)	各群の 損失質量分率 (%)	骨材の 損失分率 (%)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群の 質量(g)	各群の 質量分率(%)			$(1 - \frac{④}{③}) \times 100$	$\frac{② \times ⑤}{100}$
10	5	3	0	—	—	0.1	0.0
15	10	7	0	—	—	0.1	0.0
20	15	179	2	—	—	0.1	0.0
25	20	4,024	45	1,006	1,005	0.1	0.0
40	25	4,826	53	1,507	1,435	4.8	2.5
合 計		9,039	100	骨材の損失質量分率		(%)	2.5
特記事項							



J I S A 1 1 3 7 : 2 0 1 4	骨材中に含まれる 粘土塊量の試験		
試 料 番 号 G第1-200099号			
試 験 年 月 日 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 4年 8月 9日			
試 験 担 当 者 大湊 豊			
測 定 番 号		1	
① 試験前の試料の乾燥質量 (g)		4,091	
② 試験後の試料の乾燥質量 (g)		4,088	
③ 粘土塊量 (%)	$\frac{\text{①}-\text{②}}{\text{①}} \times 100$	0.07	
平 均 値 (%)			
特記事項			